

タイトル～<【CR弾球黙示録カイズ4CXA】における、「不毛な業界論」を問う>

■「CR 弾球黙示録カイズ4 CXA」に対して、非難轟々！？…との噂！？

何やら、パチンコ機【CRカイズ4】に対してなのか？メーカー【高尾の営業】方法に対してなのか？私には良くわかりませんが、いずれにしても「非難轟々！？」の様相を呈している、6月稼働開始の【CRカイズ4 CXA】です(汗)この風評に対して、以下【TK正人の私感】として、それなりのコラムを書いてみたいと思います。

■【犯人捜しだけ】では不毛な論議？そこに「ホールの未来」はあるのか？

今回の騒動(あえて、そう呼びますが)に対して、「非難する理由もある」事は、十分理解はしているつもりです。何やら『騙された！』と言うフレーズも耳にしますが、しかし、『その非難の理由と原因は何なのでしょう？』『カイズ4のスペックの問題』なのでしょう？それとも【高尾さんの営業トークや売り方の問題】なのでしょう？

高尾さんの営業トークの中に、「それなりの誇張はあった」と言う事は、多々耳にする限り否定は出来ないと感じます。しかし、「嘘があった」のか？「勘違いがあった」のか？「ミスリードを誘発した」のか？…等々については、私自身が知る由もありません(汗)。今回当該機種種の購入契約をし、店舗導入されたホール様が、それらに対して『どう感じているのか？』が全てであり、当事者以外の外野の私が、どうこうの言うものでも無いでしょう。

ただ、一抹の不安を覚えるのが、「犯人探しに終始している」様な思考です。

本来、【原因・理由の洗い出し～検証】は不可欠だと思いますが、「その点だけに拘って、論議する」事は、ホールさんにとって最も重要課題である、<その遊技機を打っている、自店舗のお客様の事>が欠けてしまいます。

本来は、メーカーに対して「ソレはソレ」として、お客様に対して「コレはコレ」での別論議は必要かと思えます。『犯人はメーカー側だ』と叫んでみても、『それが事実だった』としても、今更稼働が上がる訳でもない。『お店に来てくれるお客様が増える訳でもない』。結果的に『犯人捜しをしても、稼働は上がらない』と言う現実があります。であるならば、『この【カイズ4】を、どう活用・運用するのか？』を、事実検証と共に考える必要性があるのではないのでしょうか？

■稼働1週目を終えて…【カイズ4】の状況把握から。

【※以下、参考データは、<全国2,000店舗集計～サン電子・TRYSEMデータ>を参考としております。】さて、2週目の稼働も始まっているタイミングですが、先ずはその【データ検証(1週目)】から始めてみましょう。

・<平均アウト=30,000個>・<台売=50,000円(玉単価=1.7円)>・<台粗利=15,000円(玉粗=0.5円)>・<有効S=5.8回><T1Y=1,180個>、そして問題の…<BA=350%>です。

この数字に対して、購入ホールさんは『満足する、納得する数字？』…だとは、さすがに私も思いません(爆)。そかし、この数字は、そもそも『完全に想定外の数字』なのか？それとも、ある程度『想定範囲の数値』なのか？ちなみに…

先週「2万稼働以上している新台」は、6月4日週の新機種のみ。1か月前導入の新機種は「全ての機種が、週平均値にて、15,000アウトを下回っている」現状でもある。「累計粗利額のトップは、キャプテン翼の42万円だけ」だったりする。(『6週稼働で機械代を稼いでくれた』結果が、良い結果かどうかの判断は、各々お任せしますけど…)

■そこで、【カイジ4】のスペックを再考察してみます～【ラッシュBA値】

問題の【ラッシュBA値】ですが、取扱説明書の「算定書」を見て頂くと分かりますが、「350%」と表記されています。この時点で、当初語られていた「BA=450%」とは異なる事が分かります。

問題は、その「450%」と言う数値が、遊技機評価を語る上で、『最大値なのか？』『平均値なのか？』と言う確認が疎かになってしまった事は否めない事は、反省してます(涙)。ただ『最大値であれば、それは有り得る数字』である事もまた事実でしょう。…では、その平均値になる「最大値と最小値が発生する」理由は何なのでしょう？

結果的には、【小当たり発生】は、特図2(電チュー)抽選で大当たりしない場合の「1/1.01」の確率で発生します。そして、『リーチ中には図柄確定していない状態なので、その小当りは発生しない』と言う現象が生じる事となります。(※リーチとは、「ギロチン落下」の演出で、「突時2Rで終了」か？「いやいやラッシュ継続か？」の演出です)無論、事前公表された【SA=24回】(実営業でも近似値のハズ)と言う数値は、このリーチ秒数も含む値です。つまり、RUSH中に『リーチ演出で止め打ちをする』と、BA値は限りなく「450%」に近付く』と言う事になります。コレをお客様が知る事が出来れば(=無論止め打ちする事になるが)、結果的に『BA値は上がる』事になります。【遊技機性能の事実】として、告知・公表する事が是か否かについては、各々ご判断下さいませ。

また、この影響での「営業粗利」面を想定すると…

【確変50%継続】での特賞継続回数は「平均3回」となりますので、『この場合のRUSH突入は2回発生する』訳です。そして確変中の高確率は「約1/112」であり、「SA=24回」とすると、所要時間は「約4.7分(4分40秒)」となる。RUSH中のBA値が、仮に「350%⇒450%と、100個増えた」場合、1回の特賞間RUSHで『4.7分で470個が増える』。つまり「1回の確変RUSH突入」で「その2倍=940個」が増える事となる。

シミュレーション上では、【特賞確率=1/319】のスペックの場合【アウト=40,000個】とすると…【初当たり=6回】程度と想定されますので、各アウトに連動する「初当たり回数」と「最大の増加出玉分」は、以下の通りです。

- ・アウト=40,000個⇒初当たり=6.0回・最大の増加出玉=「940個×確変突入3.00回=2,820個」
- ・アウト=30,000個⇒初当たり=4.5回・最大の増加出玉=「940個×確変突入2.25回=2,115個」
- ・アウト=20,000個⇒初当たり=3.0回・最大の増加出玉=「940個×確変突入1.50回=1,410個」

【営業粗利のマイナス分(=総TYの増加分)】を計算するには、上記玉数に「×4円」(~3.57円)を計算して頂ければ判断出来ます。(※例:アウト=30,000個の場合…2,115個×4円=8,460円となります)

「RUSH増加の最大化の思考」において、『この施策が正しいのか？不毛なのか？』『計算上は分かったが現実性が無い』のか？…と言われればそれまでですが、一考を頂くご参考までに(汗)。

■そこで、【カイジ4】のスペックを再考察してみます～【損益分岐点S値】

損益分岐点の算出に、最も重要な数値は【TY値】になります。現状のデータから逆算するに、現状での平均TY値は「概ね3,000個(±200個)程度」になる様です。各ホールさんのデータでもその程度かと思われます。そもその想定では「約3,800個」程度と想定されていたので、その差は「800個程度」のマイナス差となり、その差は非常に大きなものになります。しかし、1回の平均特賞出玉(T1Y)が変動する事は、ほぼありませんし、連チャン性能に関しても、「その平均値は変動しない」訳ですから、シミュレーション数値としては『残りの3つとなる』訳です。その【残りの3つの数値】の内、甘ベース(BA)値は、上記で述べた通りですが、残り2つの内の一つは【有効スタート値】であり、もう一つは【通常ベース値】になります。

●【有効スタート値】のシミュレーション

あくまでもシミュレーション上での話ですが、現状での「玉粗利=0.5円(50銭)⇒0円」となるには、有効スタート値は「5.8回⇒6.8回(+1.0回)」程度までのシミュレーション数値となります。

(※「始動口入賞が増える場合、連動してベース値も上がる」と言う前提でのシミュレーションになります)
しかしこうなると、『メモリーがいっぱいでは止め打ちする』事になり、『時間当たりのアウト効率は下がる』事が予想されます。打ち手側にとっても『面倒である』事もあり、打ち手のお客さんにとっても、ホールさんにとっても、決して好ましい結果となる訳でもなさそうです(汗)

●では、もう一つの【通常ベース値】の話に移ります

最後のシミュレーション変動値としては、この【通常ベース値】となります。通常ベース値が上がると、『結果的に千円スタート値が上がる』事になり、同一有効スタート値の場合、『特賞までの投資金額が減少する』事になります。

では、『どの数値まで変化すると、結果的にどうなるのか?』をシミュレートしてみます。

【シミュレーション係数値】的には、<B値=2%>⇒<玉粗利=5銭>ですので、「同一有効スタート値」を前提条件として、他の数値も一切変更しない場合、『50銭の粗利を0円にするには【ベース値+20%】』と言う事になります。

(※正確には、実「ベース値=47%」程度…との計算結果です)
少なくとも、【B=40%】となった場合は、「玉粗利=-25銭」の【実玉粗利=25銭】の営業となります。

さてココで、上記で触れた【千円スタート値】の計算方法を、おさらいしておきましょう。(計算例も含む)

- ① 千円分の玉数=250玉(または240個の場合もあり)で打てる玉数を計算する⇒<250÷(1-B)>
・「B=30%」…250÷(1-0.7)=357個 / ・「B=40%」…250÷(1-0.6)=417個
- ② 上記数値を100で割る。⇒100発(1分)あたりの回転数を算出する為。
・「B=30%」…357÷100=3.57 / ・「B=40%」…417÷100=4.17
- ③ 最後に、有効スタート値にその数値を掛ける⇒コレで【千円スタート値】が算出出来ますね。
・「B=30%」…5.8回×3.57=20.7回 / ・「B=40%」…5.8回×4.17=24.2回

更に理解して頂きたいのは、『1万円を使うお客様は、ベース値が変化しても1万円を使う』と言う事です。
結果的に、仮に【1万円を使った時のアウト数】は…「B=30%」…3,570個・「B=40%」…4,170個となる。
その差は【600個】。結果的に、先週の「台売金額=5万円」であれば、『アウトは3,000個増えている』計算です。

■<まとめ>

ホールさんの「遊技機購入」において、様々な数値の「確認・検証」に加え、売り手メーカー(業者)さんとの間での「交渉・駆け引き」もある事でしょう。是は否かはともかくとして、必要な事は、『現実を誰かのせいにする』とか『犯人探しをする』だけではなく、現実を再検証した上で、『打ち手のお客様に何を、どう提供するのか?』を考えたい。
今回の「カイジ騒動」が、『お客様にとって不利益な事象・つまらない事象とならない』事を、私たちは考えねばならないと思っています。…でなければ、【お店の信頼】を根拠にした【稼働の安定化】に繋がらないと感じます。

<追伸>

この先、「北斗百裂乱舞」・「ウルトラセブン2」・「リング呪縛」と、【RUSH系】ビッグコンテンツ機種が続きますが、その特徴である【小当りRUSH】においては、少なくとも【確変=100%ラッシュ】&【ラッシュBA=350%以上】と言うスペックは望めません。『新規則下のスペックでも、RUSH系はある』と思いますので、今後も様々な思考と検証を。

<このコラムは、フリーコンテンツに該当しております。情報共有可としますが、転載・改ざん等はお控えください>
<また、文章・資料等の所有権は、「有限会社トータル・ノウ・コネクションズ」に帰属いたします>

TKC～【法人セミナー】のご案内

「TK高橋の千里眼セミナー」ですが、基本的に「単一法人様での勉強会」となります。

各法人様の意向を踏まえ、内容はカスタマイズさせていただきます。

※組合様等の場合、内容にて摺り合せが必要な場合がございますので、ご相談させていただきます。

<日 時>:ご依頼会社様の希望とのご相談の上、決定させていただきます

<場 所>:ご依頼会社様にて、手配をお願い致します。

※関西エリアにおいては「大阪元町・スリーストーン大阪営業所」開催は可能(概ね15名まで)

<時 間>:「1日＝4～5時間」が基本となります。(休憩含む拘束時間です)

<費 用>:基本価格～「1開催＝15万円」となります。(※只今、「TKC会員様＝10万円」となります)

<内 容>:ご依頼会社様とのご相談の上決定させていただきます。

※基本的に、「業界情報」・「パチンコ運用」・「店舗全体運営」の内容が中心となります。

※「業界動向セミナー」は、随時必要なタイミングにての開催を推奨いたします。

※「パチンコ運用セミナー」は、2回～3回(月1回)の連続開催を推奨いたします。

<その他>:交通費(長野県長野市から)・宿泊費は別途請求となりますのでご了承くださいませ。

～<セミナーのカスタマイズ>について～

⇒【勉強会開催において、多岐に渡るセミナー内容を同時開催したい場合】等。

弊社内容の他、「スロット運用」・「マーケティング情報」等々、内容のご希望がありましたらご相談下さい。

同日(または別日)、別コンテンツの専門的講師の推薦紹介させて頂き、同時(別日)開催となります。

(※この場合、別途講師費用と諸経費が加算されますので、ご了承くださいませ)

<お問い合わせ>

弊社代表「高橋正人」まで、ご連絡下さいませ。

【メールアドレス】:info@tkc-g.jp

【電話連絡】:(会社)026-256-9677 (携帯)090-3063-1757

有限会社 トータル・ノウ・コネクションズ

住所:長野県長野市南堀530-5

TEL:026-256-9677 FAX:026-256-9688

ホームページ <http://www.tkc-g.jp>

メールアドレス info@tkc-g.jp
